

市民生活サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.39

2012.9.15

発行/NPO法人

市民生活サポートセンターいなぎ

〒200-0802

稲城市東長沼2-1-12-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民生活サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail: info@inagi-support.org

http://www.inagi-support.org/

いなぎの魅力発見

「だんらん」(坂浜)

「だんらん」の願いは、稲城の魅力を再発見し「支え合う楽しい稲城のまち」を育むことです。今回は、郷土料理のうどん作りと坂浜の魅力を語り合います。

◆日時：9月27日

10:00~14:00

◆会場：上谷戸緑地体験学習館
※若葉台駅から徒歩約10分。バスは長峰2丁目バス停で下車し徒歩3分

◆参加費：500円(材料費)

◆定員：30人

<プログラム>

①みんなで「うどんを作って食べよう」 10:00~

※指導は坂浜の皆さん、小麦粉は上谷戸産(無農薬栽培)を使用

②「だんらん・坂浜の魅力」

12:30~

坂浜の自然や農産物、縄文時代の遺跡、江戸や明治の古民

● 講座と事業のご案内 ●

見たり、聞いたり、食べたり、話したり...

家・地名や屋号、親水公園などの資料で坂浜の魅力を話し合います。

◆主催(問合せ)：サポートセンターいなぎ(協働推進課内)

※参加希望者は9月23日までに電話・FAX・メールなどをお願いします。

◆定員：100名(先着順)

◆申込み：直接会場にお越しください。

◆主催(問合せ)：いなぎ社会福祉士会(大熊 042-378-2701)

◆共催：サポートセンターいなぎ

講演会

「ご近所パワー活用術」

～気になる人を
真ん中に(パート2)～

昨年の講演会で好評だった「すずの会」代表の鈴木恵子さんを今年もお招きし、パート2としての講演会を開催します。

東日本大震災後、地域との結びつき、コミュニティーの大切さを実感された方も多く、地域の人を地域で支えようという動きもでてきています。

親の介護をきっかけにボランティアグループを立ち上げ、近所の方が気軽に集まれる場所づくりに取り組まれた鈴木さんと、あらためて地域力について考えてみませんか。

◆講師：鈴木恵子氏

(すずの会代表)

◆日時：10月6日(土)

13:30~15:30

◆会場：稲城市立iプラザ

◆参加費：無料

映画でつながる地域の力! 映画「だんらん にっぽん」

～上映会&トークカフェ～

住民が自ら出資しあつて作った病院、愛知南医療生協の歴史と活動を追ったドキュメンタリー映画です。

地域の「つながり」や「絆」は、どのようにしてつくっていくのか、地域でたすけ合つていくつて具体的にどうということなのか、「だんらん にっぽん」には、そのヒントがたくさんあります。

◆期日：10月28日(日)

◆上映時間：①10:00~

②13:30~

◆監督講演会：15:45~

◆トークカフェ：16:30~

◆会場：地域振興プラザ4階
(1階で前売券販売中)

◆入場料：前売券800円

当日券1,000円

◆主催(問合せ)：梨映会(高瀬 080-5087-1213)

◆共催：サポートセンターいなぎ

今年は何にやら おもしろくないそう

● 今年度の年間事業予定について ●

今年度は次の2つのテーマを掲げて、年間を通してそのテーマに沿って事業を実施していくことになりました。

テーマ1「市民同士、市民と市民活動団体、市民活動団体同士がつながり合うための居場所づくり」

テーマ2「稲城を元気にするための資源の洗い出しとそれを活用した稲城の魅力づくり」

すでに終了している事業もありますが、9月中旬以降は下記のような事業を予定しています。

「つちがかり合いの居場所づくり」

テーマ：講座「ご近所パワー活用術」
時期：10月6日（土）／場所：プラサ／
講師：鈴木恵子氏（すずの会）
◎「いなぎ社会福祉士会」との共催事業

9月

「稲城の魅力づくり」

テーマ：稲城の魅力発見「だんらん」
時期：9月27日（木）／場所：上谷戸緑地体験学習館／うどんづくり指導：地元の方々

10月

映画鑑賞会「だんらん にっぽん」
※終わってから「トークカフェ」を開催。
時期：10月28日（日）／場所：地域振興プラサ
◎「稲城でいい映画を観よう！ 梨映会」との共催事業

11月

テーマ：多摩ニュータウンのパブリックアートを見て歩く（若葉台～向陽台）
時期：11月17日（土）
◎「いなぎエコ・ミュージゼ」との共催事業

12月

市民活動フォーラム 2012

時期：12月15日（土）
2つのプロジェクトチームの成果などを踏まえて、内容や実施方法などを検討します。

1月

テーマ：講座「平穏死を考える」

時期：25年1月26日（土）／場所：地域振興プラサ／講師：石飛幸三氏
◎「支え合う会 みのり」「ふれあい広場 ポーポーの木」との共催事業

NPO講座

テーマ：「ネットワークや居場所づくりの事例研究」

時期：25年3月／講師：木原孝久氏

3月

講座や事業に 参加して・・・

●講座（8月7日）

多摩直下型地震に備えて

東日本大震災後、地震災害に関する不安が増えています。そこで今回、稲城市消防本部防災課西山係長さんに市の取り組みや考え方を聞きました。

稲城市では、都の防災計画に沿って作られた「稲城市地域防災計画」を基に、市街地の整備、減災を目標に、火災の防止、死者の半減、公共施設の耐震化、住宅の耐震化の補助等を進めているとのことでした。また、災害発生時は市長を本部長に対策本部を立ち上げ、避難所の開設等素早い対応を目指しているそうです。

ただ、災害時はまず自分の身は、自分で守るそして、隣近所で助け合い無事の確認等をして欲しい、また3日間分の食糧・水は、各家庭で準備しておいて欲しいとのことでした。

その後質疑応答に入り、立川断層の問題、稲城の液状化について、災害時の情報伝達の手段、要援護者を見守るための仕組みなど、多くの質問が出されました。また登録団体の方から、先の震災後、ガソリン不足により、食事サービスなどの活動ができなかった、福祉のところに優先的に回せないかとの意見も出ました。

災害について様々なことを考えるきっかけになったと思いました。（木戸）

●講座（8月22日）

市民活動とボランティア



今回は、ボランティア活動の草分け的な存在の枝見太朗さんにお越しいただきました。

昨年の東日本大震災の活躍で、ボランティア活動が再び注目されるようになりましたが、最近の現状はボランティア活動にとっては危機的な状況だそうです。

枝見さんによると、自らの責任と使命感で活動して、今までなかった制度や仕組みを作り出して社会を変えていくのがボランティア活動の役割です。そしてこのような活動が社会に認知されて広まっていった市民活動や協働の担い手として活動するようになりました。でも最近では行政の下請的な仕事を任されることが多くなり、大事な使命である社会の変革の担い手であると言う認識が薄れてきているそうです。

そのソフトな語り口に励まされ、忙しさに忘れがちだった次のようなボランティア活動の役割や大切さについて改めて考える機会になりました。

◎ボランティア活動の5原則

- ①自主性、自発性、自立性／②無償性、無対価性／③社会性、連帯性、福祉性／④先駆性、開拓性／⑤社会の監査役としての役割

（川本）

●事業（7月28日）

昆虫観察会

この日、「稲城生き物見つけ隊」主催の昆虫観察会が行われました。場所は百村南山周辺、案内の講師はよみうりランド昆虫館の吉田館長と刈谷さんでした。

参加者は34名（子ども10人、大人24人）で、この日子どもたちが捕らえた虫たちは、カブトムシ、タマムシ、コクワガタ、コ

マダラカミキリムシ、大カマキリ、瑠璃バタカマキリ、カマキリ、シヨウリヨウバツタのめす、ウスバカゲロウの幼虫、ウマオイの幼虫、赤星ゴマダラやキチヨウなどの蝶でした。

最後に、ジャコウアゲハの幼虫が毒草のウマノスズクサを食べている様子や葉っぱの裏に産みつけた卵など、珍しい光景も見ることができ、自然は稲城の宝だと実感できた有意義な観察会でした。（和田）



▲吉田館長から捕らえた虫の説明を受ける



ジャコウアゲハの卵と幼虫



市民活動支援基金による 今年度の助成団体は

6月27日に審査会が開かれ、今年度は次の5団体に助成することが決まりました。

■声のサークルこだま

(代表 柳澤和美さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
- ③いまざいシティロータリークラブ (40,000円)
サポートセンター市民活動支援基金 (10,000円)
- ④視覚障害者のための活字情報の音訳 (社協だより、ふれあい通信、個人から依頼された本、電気機器の取扱い説明書など)

■稲城ノルディックウォーキングクラブ

(代表 神田恵介さん)

- ①スタート助成 ②45,000円
- ③サポートセンター市民活動支援基金
- ④春と秋にノルディックウォーキングの初心者向け講習会を開催する他、定例的に月1回ウォーキングを実施し、明るく元気な地域づくりに貢献する。

- ①＝助成の種別 ②＝助成額
- ③＝基金の資金提供先 ④＝活動内容など

■稲城生き物見つけ隊

(代表 和田さつきさん)

- ①スタート助成 ②30,000円
- ③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
- ④市内に生息する花、鳥、昆虫などの生き物生息状況を調査し、将来の自然保護に役立てる。

■いなぎ七つの子

(代表 斉藤裕美子さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
- ③国際ソロプチミスト稲城 (30,000円)
サポートセンター市民活動支援基金 (20,000円)
- ④市内在住の障がい児(者)のために音楽療法、言語聴覚療法、療育・静的弛緩誘導法などの療育活動を行う。

■稲城でいい映画を観よう！ 梨映会

(代表 坂本太郎さん)

- ①スタート助成 ②50,000円
- ③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
- ④心に残る映画を自主上映、上映後に「トークカフェ」を実施し、映画の感想を共有するなどして、新たなコミュニティづくりに貢献する。

編集後記

暑い あつあつ夏！
おまけに雨が降らない。
私の体はすっかり干物状
態・・・でも心はわくわ
く気分一杯の夏だった。
4年に一度のオリンピック。
感動の連続と寝不足の毎日。けれど、たくさん
さんの人が元気をもらっ
た。ありがとう。
と、夏ボケに浸っていたら、
わが町いなぎでは、
暑い あつあつ夏！
梨とぶどうが真っ盛り。
もっ、秋のね。
これから市内各地域
でまつり、講演会やコ
ンサートなどのイベン
トが続き各分野の団体
が活躍すること間違い
なし。
そして、サポートセン
ターの事業も自由押し。みな
さん、お見逃しな
いように！
(廣田)

NPO(子どもの森)芸術文化振興基金とは

地域の活性化と教育力の充実をめざし、子どもたちの芸術文化活動および健やかな育ちの環境づくりに寄与する芸術文化の振興を目的に設けられた基金です。(代表：荒木重雄さん、専務理事：角田亨さん)

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円